

議案等の紹介

今定例会に提出された議案二十三議案全てが可決され(八員の賛否一覽表を参照)、成立しました。以下、成立した議案の一部を紹介いたします。

- (補正予算)
 - 平成十四年度一般会計補正予算案
 - 平成十四年度都市改造事業特別会計補正予算案
 - 平成十四年度自動車運送事業会計補正予算案
 - (条例など)
- 仙台市非常勤消防団員に係る退職償金の支給額を引き上げるもの
- 農業協同組合等から推薦される農業委員会委員の互選に係る農

政委会の委員の定数を改定するもの

滝の原地区(太白区秋保町馬場字大滝ほか)を新たに農業集落排水事業の処理区域とするもの
仙台市将監北土地地区画整理事業施行地区内において、町の区域をあらたに画するもの及び町の区域の変更を行うもの
本町一丁目一線ほか二十九路線を市道として認定し、区画街路南二十五号線ほか九路線を廃止するもの
仙台市立木町通小学校校舎増改築並びに(仮称)仙台市木町通市民センター及び(仮称)仙台市木町通児童館新築の工事請負契約を締結するもの
仙台市立岩切小学校校舎移転新築の工事請負契約を締結するもの

- 仙台市立高砂小学校校舎増改築の工事請負契約を締結するもの
- 仙台市立市名坂小学校校舎新築の工事請負契約を締結するもの(人事)
- 仙台市資産等公開審査会の委員の委嘱
- 河上 正二 辻村 みよ子
- 佐久間 敬子 須藤 裕州
- 勝又 至子
- 人権擁護委員候補者の推薦
- 山谷 澄雄 村上 幸子
- 石森 登四男 佐藤 鐵城
- 農業委員会選任委員の推薦
- 本市の農業委員会委員として、次の五名を議員の中から推薦しました。
- 大内 久雄 加藤 栄一
- 高藤 建雄 八島 幸三
- 渡辺 博

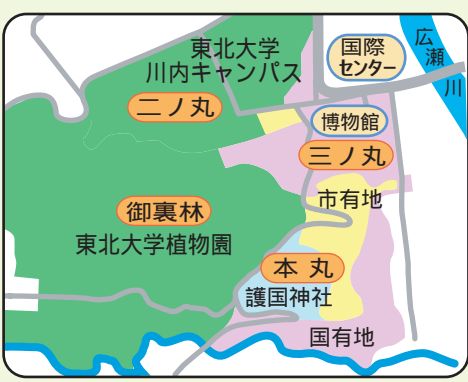
市民フォーラム

木村 勝好議員

仙台城跡の史跡指定のあり方

良櫓の復元中止は理解するが、仙台城跡の史跡指定は市有地だけでなく、東北大の区域などもともに実現するよう呼びかけるべきではないか。

史跡指定の範囲については現在のところ本丸の市有地部分を考えられている。他の区域については指定により土地利用に一定の制約



仙台城跡の土地所有状況

が加えられるため、地権者の事情も考慮し、同意が得られたところから逐次指定が受けられるようにしていきたい。

地域経済活性化に向けた都市計画の見直し

地域経済の活性化のため、例えば原町東部地区などでは、実際に応じて都市計画の用途地域の

見直しを行い、飲食店や物販店などがもっと自由に進出できるようにすべきではないか。

用途地域は市街地のあるべき姿を示す枠組みとなっているが、社会・経済情勢に対応した用途地域の見直しは、地域経済の活性化に役立つと考える。
原町東部地区については、土地利用の現状と企業ニーズを把握し、話し合いを進めながら、用途地域の見直しに適切に対応していきたい。

その他の主な質疑項目

営業所単位でのバス運行の民間委託など、経営健全化の推進
国の塩釜港湾空港工事業務所の名称を「仙台」と変更するよう働きかけを
市役所の耐震補強と替替え問題
新たなスポーツイベントの招致

みらい台

田中 芳久議員

仙台城復元計画について

良櫓建設中止について市民への深謝説明を求め、また史実を重視するならば青葉山公園整備計画の見直しも必要ではないか。

良櫓建設中止については、できる限り機会を捉えて市民の皆様への説明に努めたい。
青葉山公園整備計画については、基本方針に変わりはないが、仙台

城全体の文化的な価値や歴史的な評価を損なわないような配慮が必要と考えている。今後文化庁とも協議を行い、広く市民の意見も伺いながら見直すべきものではないかと早期に対応したい。
バス事業路線移譲について



移譲予定路線のバスが発着する地下鉄八乙女駅バスプール

路線移譲で市民へのサービスが低下する事があるのではないかと懸念されている。

サービス水準の確保については宮城交通と協議し、ソフト面では三分の間、運行回数、運行経路及び運賃を現行通りとし、その後も必要に応じた適切なサービス水準の維持に努めること、また、乗務員の接客サービス向上にも努めることとしており、バス車両、停留所上屋等ハード面も、現在交通

自由民主党・市民会議

三浦 良議員

仙台城復元事業について

今後、史跡として指定されることにより、本市が進める復元事業への影響があるのか。

また、良櫓復元事業の中止と引き換えのように大手門の復元整備が浮上しているが、あまりに唐突である。仙台城全体の復元についての事業計画を明確にした上で、各界各層の広範な意見を聞く必要があると思うがいかがか。

時代考証の明らかな建造物以外は、原則として建設が困難となるが、国の技術的・財政的支援により、長期的には、仙台城全体の整備が進むと考える。また、仙台城復元の全体事業計画については、文化庁とも協議しながら、市民や各界のご意見を反映した総合ビジョンづくりが必要と考える。

数及び運賃等を維持し、その後に必要に応じて適切なサービス水準の維持に努めることで協議が整っている。今後、宮城交通と共同で地元説明会を行うことを含め、いろいろな方法で広報していく。

その他の主な質疑項目

消防団員の確保
知的障害者自立体験ステイモデル事業
若年失業者対策
新産業創出促進事業
製造業事業者データベース作成
道路関係予算の増額補正

代表質疑

公明党

登坂 認議員

障害者への後見的支持制度の早期確立を

障害者を抱える親の将来への不安解消のために、市の責務として、安心して地域で生活を営むための施策を講ずべきであると考えがいかがか。

障害者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活していくことができる環境づくりを進めることは、市政の最重要課題の一つ



安心して生活できる地域

であり、これまでの各種施策に加えて、六月から成年後見制度利用支援事業を実施することとした。
障害者への後見の支援の条例制定は、現時点では考えていないところではあるが、今後、市の支援事業も含め制度の展開の推移を見極めながら判断していきたい。

ひきこもり対策に万全を

ひきこもりの方の相談事業について、現在は各関係機関がそれぞれ立場で対応しているが、幼児期から、指導解決に至るまで

一貫性をもって系統的に対応できるひきこもり専用窓口を設置すべき。また、両親への専門的適切な助言が受けられるシステムづくりも急務と考えるがいかがか。
現在は区保健福祉センター等の各関係機関が窓口となり相談を受けている。両親への助言を行う機関については専門機関としての精神保健福祉総合センターが中心となり、各関係機関や民間の小規模作業所等と適切に連携した対応が必要と考える。今後は、相談窓口間のシステム作りが急務であるので、今回のひきこもり青少年等社会参加支援事業の実施を契機に、その体制の整備に努めていく。

その他の主な質疑項目

公営企業(バス事業)の将来像
バス路線移譲に伴う効果と対応
増加傾向の不登校と教育の役割

学校トイレの改善を

5K(臭い・汚い・暗い・怖い・壊れている)と言われ、子どもたちが利用しづらくなっているトイレは放置すべきでない。
学校トイレの改修は、「子どもたちの人権の問題」として位置づけて、ただちに全校調査を行い、計画的に順次改善の取組を行うべきではないか。

学校トイレの改善について

学校トイレの改善については、その重要性を十分認識しており、限られた予算の中で、国庫補助制度を活用しながら児童生徒の教育環境を改善するよう努める。
その他の主な質疑項目
有事法制三法案に対する市長の対応
仙台城復元は全市民的議論で

グローバルネット仙台

岡部 恒司議員

県と市の財源配分について

本市は政令指定都市であり、制度的に他市町村と異なることは理解しているが、私たちも県民税を払っているのに、「県市協調」の情報も当然である。「県市協調」のもと、県の理不尽が一方的に押し付けられることは決して許されたい。県市間の財源問題がどうなっているのか、また、今後どう対処するのか伺う。

社民党市議団

大槻 正俊議員

市民の足を守るため宮城交通への支援を

宮城交通との競合路線の移譲後は、公共交通を維持し市民の足をしっかりと確保するため、宮城交通への支援を強化すべきではないか。

公共交通は、移動手段を持たない市民にとってなくてはならないものであり、その確保は大変重要であると考えている。路線移



市バスと共に市民の足を守る宮交バス

譲後の運行状況も把握したうえで、仮に撤退などがあった場合には市民の足を確保する観点から、状況に応じて何らかの取組を検討する。

将来、過大規模校(三十一学級以上の小中学校)になることが明らかで、児童生徒数の増加が見込まれる場合は分離新設を検討する。
また、一定の遠距離通学となる場合は、指定学校の変更を認めることや通学費の補助を行うなどにより、負担の軽減を図っていく。

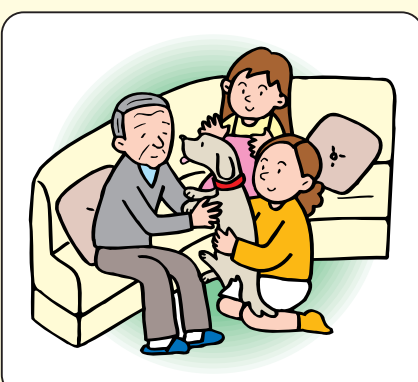
学校の分離独立等で、ゆとりある教育を

学校が肥大化した場合の分離独立の基準と対策は、あまりに広域で通学に苦勞する学区には単にクラス数だけでなく、地

その他の主な質疑項目

ひきこもり青少年等社会参加支援事業について
ひきこもり青少年等を社会活動に参加させ、自立させることは、快適な社会生活を保持・向上させるために重要である。ひきこもり青少年等社会参加支援事業に動物介在活動(AAA)を有効利用すべきと考えるがいかがか。
ひきこもりの原因や本人の状態によっては、動物介在活動が極めて有効な場面もあると考える。予定している野外活動や施設ボランティア活動の中で、その活用について実施法人や関係団体と連携を図りながら検討していきたい。
その他の主な質疑項目
消防団員の処遇改善・津波対策
広瀬川の生態系保全・ブラックバス対策について

県が県民を対象に実施する独自事業のうち福祉・環境・教育分野などにおいて、県税納税者として不可解でかつ納得できない取扱いが存在する。この理由が、単に政令指定都市の住民であるという点であれば、政令指定都市制度の趣旨を誤解する極めて不合理な対応であるので、今後とも是正について十分な理解を求めていく。



動物介在活動(AAA)

その他の主な質疑項目

ひきこもりの原因や本人の状態によっては、動物介在活動が極めて有効な場面もあると考える。予定している野外活動や施設ボランティア活動の中で、その活用について実施法人や関係団体と連携を図りながら検討していきたい。
その他の主な質疑項目
消防団員の処遇改善・津波対策
広瀬川の生態系保全・ブラックバス対策について

日本共産党

古久保 和子議員

市営バスの競合路線の移譲

計画の突然の提案は、情報公開の流れから逆行しており、市は市民参加と市の説明責任をどう考えるのか。計画には競合していない路線まで含まれている。市民の納得と同意が得られない今回の移譲計画は撤回して、市民の公共交通の充実を求める要望を汲み上げる仕組みをつくるべき。



市民期待される役割が果たされる市営バス

路線移譲計画は、現行のサービス水準の維持が前提なので、市民へ事前説明は行ってない。しかし、早い時期に宮城交通と共同で説明会を行い、市政だよりや案内掲示などで市民に知らせていくようにしたい。また、今後もしさまざまな機会を捉えて市民の声を伺い、可能なものについては、これからの事業計画に反映させていきたい。

路線移譲計画は撤回を

市営バスの競合路線の移譲計画の突然の提案は、情報公開の流れから逆行しており、市は市民参加と市の説明責任をどう考えるのか。計画には競合していない路線まで含まれている。市民の納得と同意が得られない今回の移譲計画は撤回して、市民の公共交通の充実を求める要望を汲み上げる仕組みをつくるべき。